

オープンデータ活用と「地図の民主化」

いわゆる「情報」の80%は位置情報をもつといわれ、今日の情報社会では全世界で共有される地理情報をどう市民社会で活用するかが問われています。地理情報のオープンデータ化によって、地図や地理情報が広く行政・企業・市民等で共有・活用可能になってきており、これは大きな可能性を持つ動きといえます。もちろん、そこには可能性とともに多くの課題も残っています。そこで、本年度のシンポジウムでは、地図・地理情報を題材に、オープンデータの活用と社会との関係についてその可能性と課題を考えたいと思います。

2022年

3月5日(土)

13:00~16:00

Zoomによるオンライン開催
参加費無料(定員100名)

プログラム

13:00~13:05 主催者あいさつ

基調講演

13:05~14:05 **古橋 大地氏** 「オープンデータ活用と「地図の民主化」」
(青山学院大学/マップコンシェルジュ株式会社代表取締役)

14:10~14:40 **宇根 寛氏** 「オープンデータの先駆者としての官製地図の系譜
~陸測5万から地理院地図へ~」
(日本地図センター主任研究員/元国土地理院)

14:40~15:10 **佐藤 亮介氏** 「国産GISベンダーから見たオープンデータや地図活用の
課題 ~どすごいマップの開発と公開を通して学んだ事~」
(株式会社マップクエスト代表取締役社長)

15:20~16:00 **ディスカッション**
ゲストのみなさんと参加者、当プロジェクト研究メンバーでディスカッションを行います

参加申し込み

お申込みはQRコードまたは下記URLからお願いします。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZMode-grzgtGNduN55MsMytPTTMSvZN.mpu>

申し込みQRコード

